

令和7年7月吉日

各都道府県市町村教育委員会教育長 様
各国立大学法人・公立・私立中学校長 様
各中学校技術・家庭科担当者 様
関 係 各 位

東北地区中学校技術・家庭科研究会
福島県中学校教育研究会技術・家庭科部会
会 長 吉 澤 勉

第65回 東北地区中学校技術・家庭科教育研究大会福島大会
令和7年度 福島県中学校教育研究協議会技術・家庭科部会
福島・県中県南大会のご案内（二次案内）

時下、皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび、第65回 東北地区中学校技術・家庭科教育研究大会並びに令和7年度福島県中学校教育研究協議会技術・家庭科部会を福島県郡山市にて開催いたします。

本大会に向け、研究主題を「持続可能な社会の構築とよりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成するための指導はどうすればよいか」と設定し、本教科教育の一層の充実発展をめざして実践研究を推進してまいりました。

つきましては、多数のご参加をいただき、ご指導を賜りたくご案内申し上げます。

大会開催要項

- 主 催** 全日本中学校技術・家庭科研究会
東北地区中学校技術・家庭科研究会
福島県中学校教育研究会技術・家庭科部会
- 後 援** 福島県教育委員会 郡山市教育委員会
福島県中学校教育研究会
社団法人全国中学校産業教育教材振興協会
- 期 日** 令和7年10月3日（金）
〔 理事研修会：10月2日（木）16：00 郡山ビューホテルアネックス 〕
- 会 場** 郡山市立中央公民館（全体会、授業別分科会、分野別指導助言、内容別分科会）
〒963-8876 福島県郡山市麓山1丁目8番4号
電話番号 024-934-1212 / FAX 番号 024-934-1209

5 研究主題

研究主題 『持続可能な社会の構築とよりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成するための指導はどうすればよいか』

研究副主題 「生活や社会の中から問題を見だし、主体的・対話的に解決しようとする課題設定と学習過程の工夫」

6 主題設定の理由

福島県の基本主題「主体的・対話的で深い学びを通して、多様化する社会に対応する資質・能力を身に付け、ふくしまの未来を創造する生徒の育成」を受け、技術・家庭科における研究方針を検討した。学習活動において礎になるのが教科の見方・考え方である。学習活動に時間的、経済的な制約がある中で効果的な学習活動を行うためには、技術分野においては「技術の最適化」を、家庭分野では「よりよい生活を営むための工夫」を核として、バランスのとれた学習展開と深い学びを両立する必要があると考えた。これらを達成するため、“Well-Being” “SDGs” “Skill & Literacy” をキーポイントとして主題を設定した。

この主題の達成のため、令和7・8年度の2年間を通して、生徒が見通しをもってより主体的に取り組むための学習課題と学習過程について研究を進めていく。

7 指導助言者

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官

情報教育振興室 教科調査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官

渡邊 茂一 様

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官

熊谷有紀子 様

東北地区大学教官・関係教育機関指導主事等

8 日程

9:15	9:35	9:40	10:50	11:05	12:30	13:30	14:10	14:30	15:50
受付		全体会		授業別分科会	昼食休憩		分野別指導助言		内容別分科会

9 全体会

全体会	
(1) 開会のことば	(6) 功労者紹介
(2) 大会実行委員長あいさつ	(7) 研究発表
(3) 主催者挨拶	福島県・岩手県・山形県
(4) 来賓祝辞	(8) 大会宣言文決議
(5) 来賓・指導助言者紹介	(9) 次期開催県あいさつ
	(10) 閉会のことば

10 公開授業

	公開授業	題材名	授業者	指導助言者
技術分野	情報に関する技術	利便性・安全性の高いチャットプログラムを作り、使用時の問題を解決しよう	郡山市立安積中学校 中澤 正英教諭	福島県教育センター 指導主事 高野 靖紀 先生
家庭分野	消費生活・環境	自立した消費者となるために	郡山市立郡山第一中学校 柳沼 香奈教諭	福島県教育庁健康教育課 指導主事 佐瀬 千恵 先生

1 1 内容別分科会

分野・内容		研究発表者	指導助言者
技術分野	A 材料と加工の技術	角田市立角田中学校 廣田 匡俊 先生 大河原町立大河原中学校 佐藤 隆亮 先生	宮城県総合教育センター 指導主事 齋藤 秀峰 先生
	B 生物育成の技術	三沢市立第一中学校 青木 則明 先生 野辺地町立野辺地中学校 前山 裕一 先生	青森県総合学校教育センター 指導主事 飯田 香久 先生
	C エネルギー変換の技術	花巻市立南城中学校 柁屋 幸太郎 先生	岩手県立総合教育センター 研修指導主事 加藤 佳昭 先生
	D 情報の技術	相馬市立向陽中学校 佐藤 克成 先生	福島県教育センター 指導主事 高野 靖紀 先生
家庭分野	A 家族・家庭生活	岩手町立沼宮内中学校 岩館 良子 先生	盛岡教育事務所 主任指導主事 八重樫 英広 先生
	B 衣食住の生活	能代市立能代第二中学校 小林 裕子 先生	秋田県総合教育センター 主任指導主事 部谷 靖子 先生
		新庄市立明倫学園 長倉 千賀子 先生	山形県教育センター 指導主事 木戸 恵美 先生
	C 消費生活・環境	須賀川市立第二中学校 椎名 絢菜 先生 鏡石町立鏡石中学校 原田 明美 先生	福島県教育庁健康教育課 指導主事 佐瀬 千恵 先生

1 2 大会諸経費

- (1) 大会参加費 4,000円 (資料代を含む)
 (2) 昼食代 (希望者) 1,000円 (希望者)

1 3 参加申し込み

- (1) 申込期限 各県事務局 (福島県については各支部) の指定する日
 (2) 申込方法

- ① 参加希望者は参加費 (昼食代含) を添えて別紙「参加申込書」を各県事務局 (福島県については各支部) に申し込んでください。
- ② 各県事務局 (福島県は各支部庶務) は、「領収書 (資料引換券)」に会長 (支部長) 印を押印し、参加者に渡してください。
- ③ 各県事務局 (福島県は各支部庶務) は、「参加者一覧 (excel ファイル)」に必要事項を入力の上、**9月10日 (水) までに**、大会事務局へメールで送付してください。
 また、大会諸経費は、下記の銀行口座に**9月10日 (水) までに**振り込んでください。

東邦銀行 大森支店 店番号128 口座番号285982 口座種目 普通預金 口座名 福島県中学校教育研究会技術・家庭部 部長 吉澤 勉
--

- ※振込手数料は、個人負担・各県事務局負担でお願いいたします。
 ※振込の際は氏名欄に県名 (支部名) をカタカナで入力してください。
- (3) 大会諸経費は、申込以降は返金できません。大会参加取消の場合は、他会員に依頼するなどにより、資料を受け取るよう手配してください。

1.4 大会事務局 福島市立吾妻中学校 教頭 齋藤 幸紀
 〒960-2261 福島市町庭坂字原田8番地
 TEL 024-591-1109 FAX 024-591-5295
 E-mail saitou.yukinori@fcs.ed.jp

1.5 会場周辺地図

